

- Richardson, L.F., 1922: Weather Prediction by Numerical Process, Dover Edition (1966).
 Rogallo, R.S. and P. Moin, 1984: Ann. Rev. Fluid Mech. 16, 99-137.
 Schumann, U., 1975: J. Comput. Phys. 18, 376-404.
 Smagorinsky, J., 1963: Mon. Weather Rev. 91, 99-164.
 Speziale, C.G., 1985: J. Fluid Mech. 156, 55-62.
 ———, 1987: J. Fluid Mech. 178, 459-475.
 Tennekes, H. and J.L. Lumley, 1972: A First Course in Turbulence. MIT Press, Cambridge.
 Van Driest, E.R., 1956: J. Aeronaut. Sci. 23, 1007-1011.
 Yakhov, V. and S.A. Orszag, 1986: J. Sci. Comput. 1, 3-51.
 Yakhov, A., S.A. Orszag, V. Yakhov and M. Israeli, 1989: J. Sci. Comput. 4, 139-158.
 Yoshizawa, A., 1984: Phys. Fluids, 27, 1377-1387.
 Zang, T.A., 1989: Submitted to Appl. Num. Math.



日本大気電気学会第46回研究発表会のお知らせと参加募集

主催 日本大気電気学会
 共催 (予定) 電波科学研究連絡委員会E分科会
 協賛 (予定) 日本気象学会, 大気汚染学会

地球電磁気・地球惑星圏学会
 日本保健物理学会, 静電気学会
 エアロゾル研究協議会
 電気学会高電圧研究会

第46回研究発表会を下記により開催することになりました。今回は、電気通信大学の御世話で、環境の良い調布市で開催いたします。大気中での諸現象に係わる研究者、技術者の有意義な研究交流・情報交換の場にしたいと考えておりますので、多数の御参加をお願いいたします。尚今回は、「地震、火山噴火に伴う大気電気現象」に関するシンポジウムを予定しています。

記

開催日時: 1992年1月9日(木), 10日(金)
 会場: 電気通信大学(京王線調布駅より徒歩10分)
 〒182 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1
 講演募集分野: 放射能・イオン・エアロゾル・雷・晴天電気・電磁波等に関する研究分野の他、地球規模の大気環境現象を含みます。今回は、シンポジウム「地震、火山噴火に伴う大気電気現象」を開催することを

予定しています。

尚、電波科学研究連絡委員会E分科会の共催を計画中です。

ご講演を申し込まれる方は、11月20日(水)までに講演題目、氏名(講演者に○印)、所属を下記までお送り下さい。尚、今回は予稿はございませんが、講演終了後(2月中旬)要旨(A4, 1ページ)を「大気電気研究」に投稿していただきます。

〒182 東京都調布市調布ヶ丘 1-5-1

電気通信大学 菅平宇宙電波観測所
 早川正士

TEL. 0424-83-2161 内線 3354
 FAX. 0424-89-5861

また、参加費は無料となっております。多くの方の参加をお待ちしております。



第7回北方圏国際シンポジウム開催概要

—オホーツク海 & 流氷—

1. 名称

- ・和文名 オホーツク海と流氷に関するシンポジウム
- ・英文名 International Symposium on "Okhotsk Sea & Sea Ice"

2. 主催

- ・紋別市, (社)北方圏センター, オホーツク海・氷海研究グループ

TEL. 01582-4-2111 内線 221

- 3. 会期 1992年2月2日(日)～5日(水)

- 4. 会場 北海道紋別市民会館・文化会館

第2回熱帯降雨観測衛星 (TRMM) 研究会のご案内

宇宙開発事業団から日本気象学会に委託された「TRMM データの気象分野への利用に関する調査・検討」の活動の一環として第1回 TRMM 研究会が10月26日開かれましたが、この研究会の活動をさらに進めていくために、来年1月末に第2回 TRMM 研究会を開きます。

今回は、TRMM データを利用することにより一層研究の進展が見込まれると期待される研究分野を対象とした研究発表及び、TRMM データを利用した研究計画について議論する場とし、本研究会を踏まえて、3月の「宇宙からの降雨観測データの処理・利用に関する国際ワークショップ」に反映させる予定です。

TRMM データ利用の研究分野の一例を示しますと

- * 降水の気候学
- * 亜熱帯域の降雨システム
- * 大気大循環モデルの検証
- * 熱帯降雨と植生
- * グランドトゥース
- * 熱帯の降雨システム
- * 熱帯域熱源と大気大循環
- * 数値予報モデルの精度向上
- * 降雨量算出アルゴリズム

などがあげられますが、これ以外の TRMM データ利用を考えていただける方の参加も歓迎します。また、日本気象学会員以外の方でも発表・参加できます。

1日めは、午後から講演(一人10分から30分程度)、講演は研究分野ごとにまとめて行い、いくつかの講演が終わった後、その分野でのデータ利用、打ち上げ前の研

究計画などについて議論を行う予定です。

2日めは、午前中講演、昼食後まとめを行い、3時ごろ終了の予定です。

講演される方を中心に、旅費・宿泊費の補助を考えていますので、補助を必要とされる方は、12月14日までに事務局(気象研究所台風研究部 中澤哲夫)にご連絡ください。

なお、講演される方は、講演概要(和文A4一枚)をあらかじめ1月14日までに事務局にお送りください。また、全講演内容は、委託研究報告書に掲載しますので、2月15日までに、講演内容(英文A4で図表含め4～5枚程度)を事務局にお送りください。

日時: 1992年1月30日(木)午後～31日(金)午後

場所: 静岡県熱海市 アタミ観光ホテル(予定)

規模: 40～50名

参加ご希望の方は、氏名、所属、住所、電話番号、講演の有無、講演題目、旅費・宿泊費補助の有無を、事務局(☎305 つくば市長峰 1-1 気象研究所 中澤哲夫)に12月14日までにご連絡ください。

TRMM 研究会世話人 新田 勲(気象大学校)

Tel. 0471-44-7185 Fax. 0471-46-1896

事務局 中澤哲夫(気象研究所, 台風研究部)

Tel. 0298-51-7111 Fax. 0298-51-1449

まま議論が進められている点である。そもそも、書名の「大気水圏」という概念についてもなんとなく分らないが、一言説明があるべきことと思う。

後者については、物事に関する細かな事実が明らかになっていくにつれて、さらに分からないことが増えるということであり、風物詩と思っていたものが調べると色々なことに深刻に関わることが示されているという意味である。各論文の間口の広さ、奥行きは深さは様々であり、いくつかの論文はある分野の総論的解説、また、ある論文は観測データの詳細な提示である。本書が、黄砂に関するはじめての系統的な研究書とすれば当然のことであり、これからの本分野の発展が期待される。

今後、観測データの蓄積、観測方法の進歩があった場

合でも、1990年（まで）の記録という価値は減じることはなからう。序文的な二つは正に序文で、大局的・情緒的研究動機と、現実になされている研究の立場の整理に関する提案だけである。あまり多数ではないらしい過去の研究の整理と現時点での黄砂研究の意義の説明を充実させれば、版を重ねることになるのであろう。おそらく本書に依れば、黄砂についての研究の最前線をクリアできると思われるが、一回通読する程度の読み方では、自信をもって、そうと断定するにはやや荷が重い。もっとも、研究書というものが、本来そういう努力を読者に強いるものであるとすれば、ここに書いたことは何等欠点ではないし、価格も相応である。

（お茶の水女子大・地理 田宮兵衛）



1992年度東京大学海洋研究所共同利用研究公募について

応募資格

国・公・私立大学その他の研究機関の研究者並びにこれに準ずる者で、海洋の基礎的研究を目的とするものとします。

共同利用研究の種別（申込期限）

- (1) 研究船（申込期限11月30日）
研究船白鳳丸（3,987総トン）特定海域の研究航海を行います。（研究航海概要参照）
研究船淡青丸（469総トン）主に近海の研究航海を行います。
- (2) 研究会（申込期限11月30日）
比較の多人数の研究者による1・2日間のシンポジウム、あるいは比較の少人数の研究者による数日間の討論集会等です。
- (3) 外来研究員（申込期限11月30日）
所外研究者が本所に滞在して研究を行う便宜を提供します。

- (4) 大槌臨海研究センター（申込期限11月30日）

①共同利用研究員

センターに滞在して研究を行う便宜を提供します。

②研究会

少人数の研究者による討論集会等です。

応募を希望される方は、公募要領等を参照してください。

〔公募要領等詳細は気象学会事務局にあります〕

……◇……◇……◇……

◎東京大学海洋研究所

〒164 東京都中野区南台 1-15-1

TEL. 03-3376-1251（代）

◎大槌臨海研究センター

〒028-11 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜 2-106-1

TEL. 0193-42-5611（代）



教官の公募について（依頼）

時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本学部では下記の要領で教官を公募いたします。

つきましては、御多忙中のところ恐縮に存じますが貴職関係方面へ周知方お願い申し上げます。

記

1. 所属講座 自然環境研究講座
2. 職名及び人員 教授 1名
3. 専門分野 第四紀学, 地形学
4. 担当科目 一般教育：環境地理学, 地域地理学
専門教育：第四紀学, 地形学, 環境科学実験, 同野外実習
5. 公募期限 1991年12月27日（金）必着
6. 採用予定年月日 平成4年4月1日, もしくはそれ以降なるべく早い時期
7. 応募条件 博士の学位を有すること。
年齢は60歳前後。（昭和8年4月1日以前生まれの方）
8. 応募書類 (イ) 履歴書（写真貼付）
(ロ) 業績リスト

- (ハ) 発表論文の別刷又はコピー
- (ニ) 現在までの研究概要及び今後の研究計画
- (ホ) その他, 本人が必要と思う資料

9. 応募書類の提出先

〒730 広島市中区東千田町1丁目1番89号
広島大学総合科学部長

天野 実 宛

* 封筒に「自然環境研究講座 第四紀学, 地形学 教官応募書類在中」と朱書き, 簡易書留で郵送のこと。

10. 問合せ先

広島大学総合科学部自然環境研究講座
福岡 義 隆
TEL (082) 241-1221 内線 2160

11. 参考事項

本学部に設置されている大学院生物圏科学研究科（博士課程前期・後期）の陸域環境学Ⅲ（環境地理学）を担当していただく予定です。

会費の請求について

日本気象学会事務局

本年も、年の瀬が近くなりました。

会員の皆様にはお元気で過ごしのことと思います。

さて、1992年の会費の請求について、ご連絡をいたします。

本年は11月中旬から下旬にかけて会員の皆様のお手元に請求書が届くように請求書発送の準備を進めています。会費納入についてご協力をお願いします。

本年は下記のように例年と若干、変わったことがありますのでよろしく申し上げます。

記

1. 大学など、従来グループ請求をしてきたところについて今回は、ご要望が多いので個人請求に切り替えました。

1991年11月

ただし、気象官署の会員の方は従来どおりグループ請求です。

2. 秋季大会参加者については、参加費、懇親会費等の請求が含まれます。
3. 気象研究ノートの定期購読の方には、年内に172号迄お届けいたします。

お願い

昨年から、銀行口座から自動引き落としによる会費納入の制度を導入していますが、まだ未加入の方でご賛同の方は事務局までご連絡下さい。書類をお送りいたします。今後、お申し込みの方は1993年分の会費から適用になります。



1991年度気象研究所研究発表会開催の案内

気象研究所では、研究発表会を以下のとおり開催しますので、関心をお持ちの方は、奮ってご来場ください。

1. 日時：1991年12月3日（火）09：00～17：00

2. 場所：気象研究所講堂

3. プログラム

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> (1) 竜巻とメソサイクロン (2) 本州中部における降水時の風系 (3) やまじ風の数値的研究 (4) 都市気候を表現する局地気候モデルと東京のヒートアイランドへの応用 (5) 原子力施設からの放射性希ガスの長期拡散重合モデルについて | <ul style="list-style-type: none"> (6) 太平洋高気圧の季節内変動の解析的研究 (7) 大気のエミッション観測による10μm水蒸気連続吸収帯吸収係数の推定 (8) 雲の放射過程に関する実験観測 (9) 海水中の溶存有機物と金属イオンとの相互作用 (10) 北太平洋の深層循環 (11) 本震直前における前震活動の“なぎ” (12) 地震学的方法による地殻内応力場の推定 (13) 雲仙岳の火山活動 |
|--|---|

事務局 気象研究所企画室

〒305 つくば市長峰 1-1

TEL. 0298-51-7111